

令和4年度 芸術科 「書道Ⅱ」 シラバス

| | | | |
|-----|-----------|----------|----------------|
| 単位数 | 2単位 | 学科・学年・学級 | 普通科 2年A～G組 選択者 |
| 教科書 | 書道Ⅱ（東京書籍） | 副教材等 | |

1 学習の到達目標

書道の創造的な諸活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。

2 学習の計画

| 月 | 単 元 名 | 学習項目 | 学習内容や学習活動 | 評価の材料 |
|----|-------------|-----------------------------|---|--|
| 4 | 1、オリエンテーション | 書道Ⅱについて | ・書道Ⅱで学習する内容を知り、その意義を理解する。 | ワークシート |
| | 2、隷書の学習 | 禮器碑 張遷碑 開通褒斜道刻石 木簡 | ・隷書体の歴史、特徴を理解し、八分隸・古隸・木簡の臨書学習をする。多様な表現と工夫を学ぶ。 | ワークシート 制作中の様子 完成作品 |
| 5 | 3、篆書の学習 | 泰山刻石 近代の篆書 | ・篆書体の書体、変遷について学習し、基本的な用筆、運筆法、字形のとり方について学ぶ。小篆・大篆・金文の臨書学習を行う。 | ワークシート 制作中の様子 完成作品 |
| | 6 | 4、篆刻 | 石鼓文 金文 | ・篆書体の特徴を理解し、金文や大篆の臨書学習をする。多様な表現と工夫を学ぶ。 |
| 篆刻 | | | ・落款印の役割とその正しい用法を理解し、落款印を制作する。 | |
| 7 | 5、漢字の創作① | 統一課題による創作 | ・漢字5文字による統一課題での創作を行う。書体・書風自由。 | |
| 8 | 9 | 6、漢字仮名交じりの書 | ・日本の俳句や短歌、詩を題材とし、古典を生かした表現、用具用材による表現の違いを学ぶ。 | 制作中の様子 完成作品 |
| | | | | |

| 月 | 単元名 | 学習項目 | 学習内容や学習活動 | 評価の材料 |
|----|--------------------------------|------------------|--|--------------------------|
| 10 | 7、草書 | 十七帖 書譜 自叙帖 | <ul style="list-style-type: none"> ・草書の成り立ちと仮名との関連を解説する。行書と草書を比較し、表現の違いを学習する。 ・様々な古典を臨書する事で表現方法の違いを理解する。 | ワークシート 制作中の様子 完成作品 |
| | 8、行書の臨書と創作 | 集王聖教序 温泉銘 | <ul style="list-style-type: none"> ・書道 I で学習しなかった行書の古典を臨書し、表現の幅を広げる。 | 制作中の様子 完成作品 |
| 11 | 9、漢字の創作 ② 書き初め | 統一課題による 創作 | <ul style="list-style-type: none"> ・これまでに学習した古典を元に倣書して創作する。 ・書初めの歴史を学習し、書初めに相応しい佳句を様々な書体で創作する。 ・構成に工夫を凝らし、内容豊かな作品作りをする。 | 制作中の様子 完成作品 |
| 12 | | | | |
| 1 | 10、漢字の創作 ③ 少字数の創作 | | <ul style="list-style-type: none"> ・墨の濃淡や紙の違いによって異なる表現による作品制作を行う。 ・少字数で書体自由として創造的な作品制作を行う。 | ワークシート 制作中の様子 完成作品 |
| 2 | 11、漢字の創作 ④ 自由課題による 創作 | | <ul style="list-style-type: none"> ・漢字3文字、課題・書体自由による作品制作を行う。 | ワークシート 制作中の様子 完成作品 |
| 3 | | | | |

3 評価の観点

| | |
|----------|---|
| 関心・意欲・態度 | 書道の創作活動に喜びを感じ、多様な表現方法や書道の文化に関心をもち、主体的に表現や鑑賞の創作活動に取り組もうとしたか。 |
| 発想や構成の能力 | 感性を働かせて、構成を工夫し、美しい作品に仕上げる事ができたかどうか。 |
| 創造的な技能 | 創造的な表現をするために必要な技能を臨書を通して身に付け、意図に応じて表現方法を工夫して表現することができたか。 |
| 鑑賞の能力 | 古名跡の鑑賞を通じてそのよさや美しさを主体的に味わうことができたか。 |

4 評価の方法

「関心・意欲・態度」、「発想や構成の能力」、「創造的な技能」、「鑑賞の能力」の4つの観点から総合的に評価します。
(具体的内容：提出作品、授業の取り組み、鑑賞の態度、ワークシート等)

5 担当者からのメッセージ (確かな学力をつけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守ってほしい事項など)

- ・実技科目ですので、欠席や遅刻で授業に出席する機会が減ると作品制作に大きく影響します。注意して下さい。
- ・作品の制作中はお互いに集中できる環境作りに心がけましょう。
- ・芸術は本物の作品を直接見て鑑賞する事が特に重要です。美術館や博物館に足を運び、感性を養っておいて下さい。